

地域と共に生き、 地域の豊かさの創造に 寄与し続けてまいります。

平素より足利銀行グループ各社
一方ならぬご愛顧を賜り、厚く御
対しまして
礼申しあげます。

株式会社足利銀行 取締役頭取

清水 和幸

『CSV（共通価値の創造）の実現』

足利銀行では、2024年度の経営方針に「CSV（Creating Shared Value: 共通価値の創造）の実現」を掲げ、日々の活動に取り組んでいます。CSVとは、お客さまの課題や目標・夢を共有し、ともに解決・実現した先に、当行の利益や成長があり、お客さまの利益を追求し続けていくことが私たちの持続的な成長・発展につながっていくという考え方です。

物価高・高齢化・人材不足・脱炭素への移行、DXの進展などさまざまな環境の変化でお客さまが抱える課題（悩み・心配ごと）は多様化しています。このような外部環境の変化をお客さまと共に成長する機会と捉え、あらゆるお客さまの悩みや課題の解決を支援してまいります。

法人のお客さまでいえば、経営者の高齢化が進んでおり、どのようにして次の世代に会社を引き継いでいくかが課題の一つとなっています。後継者がいない場合は、当行の投資専門子会社である「株式会社ウイング・キャピタル・パートナーズ」の運営するファンドを活用して、地元で経営を継続していただける引受先を探すことも可能です。

個人のお客さまは、「賃金と物価の好循環の実現」によって、日本でも「金利ある世界」に移行しつつある中、インフレに強い資産構成にしていくことが求められています。当行では、専門スタッフである「ライフプラン・アドバイザー（LA）」がお客さま一人ひとりに適した資産形成のお手伝いをしています。

価値創造の源泉は「従業員=人材」

当行の価値創造の源泉は「従業員=人材」と考えています。昨年10月、人材価値とCSVの持続的な好循環を図るため、新たな人事戦略を制定し、基本方針を「自律的に生き活きと、価値創造に挑戦する「個」と「組織」への変革」としました。制定にあたっては、従業員との対話を重ね、課題を分析したうえで当行の“あるべき姿”について徹底的に議論しました。激しく変化し続ける時代において、地域の豊かさの創造に寄与し続けるためには、私たち一人ひとりが常に成長し、挑戦し、多様性や変化を認め合いながら、進化し続けていく必要があります。そして、さまざまな価値観の掛け合わせでイノベーションを創出し、「個」と「組織」が持続的に進化を遂げていく、そうした組織こそ、

地域・お客さまに対してポジティブな影響を持続的にもたらすことができると信じています。

自律的に生き活きと働くためのベースとなる考え方は「ウェルビーイング」です。“ワークインライフ”という考え方がありますが、人生の中で仕事は相当な位置付けにあります。「仕事楽しい、生活も楽しい」という流れの中で働いてもらいたいと考えています。

すべての行動の起点は「お客さま」

法人のお客さまも個人のお客さまもそれぞれ課題を抱えています。その課題に応えていくために最も大切にしたいことは、お客さまとの「対話」です。お客さまとの深い対話によって、想いや悩みに共感し、同じ方向を向いて解決策を一緒に考えていく。お客さまと同じ船に乗り、お客さま志向で課題解決に共に取り組むことで、地域とお客さまの豊かさの創造に寄与し続けてまいりたいと考えております。

今後とも、お客さま、地域の皆さまのご期待にお応えできるよう、役職員一同全力を尽くしてまいります。引き続き、足利銀行へのご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ASHIGIN REPORT 2024

Contents

トップメッセージ 1

特集

事業承継
「ウイング・キャピタル・パートナーズ」の取り組み 3

人的資本経営
多様な人材が輝く組織への取り組み 5

めぶきビジネスアワード入賞事業 7

営業店×本部で目指す本業支援
お客さまとの“対話”から導くソリューション 11

あしぎんのライフプランコンサルティング
長く、深く、共に考える存在に 13

日常使いできるアプリで銀行取引をもっと快適に
足利銀行アプリのある暮らし 15

あしぎんのサステナビリティへの取り組み 17

営業エリアのご案内 19

会社概要・財務データ 21